
タッチタイピングのすすめ



コーディングを早くするために

- コーディングとはプログラムを入力すること。
- コーディングを早くするにはタッチタイピングが重要。

タッチタイピングとは

- キーボードを見ないでタイピングすることをタッチタイピングと言う。
- 最初は訓練が必要だが、視点の移動が少なく疲れにくい、早く打てる、考えに集中できるなどのメリットがある。
すでに我流で速く打てる人はタッチタイピングに切り替えると一時的に遅くなるものの、最終的にはタッチタイピングの方が速く打てるようになる。
- キー配列を覚える必要はない。手が自然に動くようになる。

ホームポジション

■ ホームポジション

突起のあるFのキーに左手の人差し指を置き、左手の残りの指を順番に置く。

突起のあるJのキーに右手の人差し指を置き、右手の残りの指を順番に置く。

これがホームポジションです。

各指が担当するキーは次ページのように決まっています。

各指が担当するキー



アンカーキー

■ アンカーキー

キーを打つ時、必要な指だけを動かす。それ以外の指はできるだけホームポジションに残しておく。このホームポジションに残しておく指のキーのことを「アンカーキー」と呼びます。特にアンカーキーに小指または人差し指を残すようにして、キーを打ったらすぐにホームポジションに戻るようにしましょう。

タイピングソフトに関する情報

■ 以下のような無料のタイピング練習ソフトを活用するとよいでしょう。

● P検無料タイピング練習

<http://www.pken.com/tool/typing.html>

● e-typing

<https://www.e-typing.ne.jp/>